



(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
5	(一)栗尾見 あけせん 上線  栗生  (南相木村)	道路拡幅工 L = 700m W = 4.0(5.0)m	道路拡幅工 L = 220m	道路拡幅工 L = 60m	道路拡幅工 L = 197m	必要性 B	95%	計画どおり進んでいる。 優先順位の高い箇所から事業を進め、H23 年度は引き続き道路拡幅工を実施する。	地元から強い要望 がある。ローカルルー ルを適用した整備に より、低コストで早期 の効果が発現できる ため継続して事業を 実施したい。	1.5車線での整備 の必要性が認めら れる。	「継続」
		(工期: H20 ~ H25)				重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
		1億1,700万円	2,900万円	500万円	4,190万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
6	(主)川上佐 くせん 久線  まごえ 馬越  (南相木村・ 川上村)	道路拡幅工 L = 500m W = 4.0(5.0)m	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L = 250m	必要性 B	55%	計画どおり進んでいる。 優先順位の高い箇所から事業を進め、H23 年度は引き続き道路拡幅工を実施する。	ローカルルールの 適用により効果が発 現できる。第2次緊急 輸送路で生活道路で もあり、安全確保を早 期に図る必要がある ため継続して事業を 実施したい。	重要性は認められ る。	「継続」
		(工期: H20 ~ H25)				重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.4				
		7,000万円	1,000万円	1,000万円	3,100万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。				
7	(一)こもるな かごせん 込線  ひがしやま 東山  (小諸市)	道路拡幅工 L = 330m W = 6.0(10.0)m	用地測量1式 物件調査1式	用地補償1式	道路拡幅工 L = 120m	必要性 B	75%	計画どおり進んでいる。 用地測量が完了し、H23は用地補償を実 施する。	JR乙女駅へのアク セス道路、地域住民 の生活道路、通学路 であるとともに、小諸 市とJR佐久平駅を結 ぶ重要な路線であり 緊急性、効率性も認 められるため継続し て事業を実施したい。	予定工期内の完 了を図る。	「継続」
		(工期: H16 ~ H24)				重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3				
		1億8,000万円	900万円	1,000万円	4,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
8	(主)しもにたあ しなせん 科線  さくだいらえきみな 佐久平駅南  (佐久市)	道路拡幅工 L = 300m W = 6.5(16.0)m	用地補償1式	道路拡幅工 L= 100m	道路拡幅工 L = 300m	必要性 B	38%	用地買収が完了した区間より、H23から順 次道路拡幅工を実施する。	平成22年度未供 用予定の中部横断道 中佐都ICのアクセス 道路に位置付けら れ、高速道の事業進 捗に合わせ事業を進 める必要がある。交 差点部の安全確保を 図るため必要延長の 拡大を含め、継続し て事業を実施したい。	交差点部の安全確 保のため、追加整 備の必要性が認め られる。	「拡大」
		(工期: H22 ~ H24)				重要性 B	特記事項 中部横断自動車道関連事業 H23変更 道路拡幅工L=100m増、事業費7,000万円増、 事業期間1年増 公安委員会との調整により交差点右折レーン 設置のため拡幅必要延長が増加した。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=6.6				
		1億7,000万円	6,500万円	4,000万円	1億500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
9	(国)152号 ひめき たいら 姫木平 [長和町]	道路拡幅工 L=200m W=6.0(8.0)m  (工期: H19 ~ H24)	-	道路拡幅工 L=200m 保安林解除 一式	道路拡幅工 L=200m	必要性 A	14%	計画どおり進んでいる。 H22に引き続き保安林解除手続きを実施し、H23から道路拡幅工に着手する。	本工区は、急カーブで見通しも悪いための危険である。観光客が多く、早急に安全確保が必要のため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		6,000万円	0万円	3,400万円	5,160万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.1				
						緊急性 C	住民参加状況等 計画のあり方、維持管理の問題等について地域関係者が参加出来る体制を整えていく。				
10	(一)御牧原大 ひなたせん 日向線 みまきはら 御牧原 [東御市]	道路拡幅工 L=630m W=6.0(9.0)m  (工期: H18 ~ H24)	道路拡幅工 L=160m	道路拡幅工 L=205m	道路拡幅工 L=205m	必要性 B	73%	計画どおり進んでいる。 用地取得については一部を除き完了。 H23年度は道路拡幅工を実施する。	広域農道千曲ビューラインの供用後、交通量が増加し、路肩狭小で線形が悪く、歩道も未整備であるため、継続して事業を実施したい。	緊急性は認められる。	「継続」
		1億2,000万円	2,870万円	2,300万円	3,300万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.8				
						緊急性 A	住民参加状況等 計画段階から住民と対話しながら進めており、維持管理体制について今後も進めていく。				
11	(一)うえだ しあかわ せん 線 すわがた 諏訪形 [上田市]	道路拡幅工 L = 243m W = 4.0(5.0)m  (工期: H20 ~ H23)	道路拡幅工 L = 123m	道路拡幅工 L = 120m	道路拡幅工 L = 120m	必要性 B	23%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き道路拡幅工を実施する。	地域の孤立解消の必要性も高く、地権者の了解が得られているので、継続して事業を実施しH23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		5,200万円	680万円	4,000万円	4,000万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.4				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
12	(一)かけゆべっしょう えだせん 所上田線 のくら 野倉 [上田市]	待避所設置工 7箇所 区間延長L=1,000m W=4.0(5.0)m  (工期: H19 ~ H24)	待避所設置工 1箇所	待避所設置工 4箇所	待避所設置工 6箇所	必要性 B	72%	計画どおり進んでいる。 引き続き待避所設置工を進める。	地域の孤立性及び、未改良区間が長いいため、1.5車線による整備(待避所設置)を継続したい。	待避所設置の必要性が認められる。	「継続」
		7,000万円	1,000万円	1,200万円	1,900万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
						緊急性 A	住民参加状況等 地域住民が植樹やゴミ拾いの沿道美化活動を実施している。				

(様式2B)

分野 補完的な道路の整備 事業番号、事業名 86 県単道路改築

補助・単独別 単独

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
13	(一)美ヶ原和 田線 のいり 野々入  [長和町]	道路拡幅工 L=1,260m W=4.0(6.0)m  [工期:H21~H25]	用地補償 1式	道路築造工 L=80m	道路拡幅工 L=1,260m	必要性 A	18%	計画どおり進んでいる。 用地取得を実施し、H23年度より拡幅改良工を実施する。	観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であり、1.5車線整備の手法により継続して事業を実施したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.2				
			9,000万円	1,000万円	1,000万円	7,350万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
14	(一)大屋(停 田沢線 かのう 八木沢 和踏切)  [上田市]	道路拡幅工 L=60m W=6.0(12.0)m  [工期:H22~H24]	測量設計 1式	用地測量 1式 物件補償 1式	道路拡幅工 L=60m	必要性 B	9%	計画どおり進んでいる。 H22で測量設計が完了し、H23年度より用地補償、物件調査を進めたい。	生活道路としての安全確保を図るとともに、踏切道改良を促進する事業であるため、事業を継続したい。	踏切改良の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.9				
			1億1,000万円	450万円	1,000万円	1億円	緊急性 B	住民参加状況等 周辺道路整備も含めて検討委員会を地元で結成し取り組んでいる。			
15	(一)鹿教湯別 所上田線 やぎさわ 八木沢  [上田市]	道路拡幅工 L=75m W=6.0(7.5)m  [工期:H22~H24]	用地補償 1式	道路拡幅工 L=75m	道路拡幅工 L=75m	必要性 A	50%	計画どおり進んでいる。 H22に用地測量、用地補償完了し、H23年度から道路拡幅工を実施したい。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、事業を継続したい。	緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=15.8				
			2,500万円	800万円	1,500万円	1,700万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
16	(主)丸子信州 新線 かけゆ 鹿教湯  [上田市]	待避所設置工 12 箇所 区間延長L=2,000m W=4.0(5.0)m  [工期:H18~H24]	待避所設置工 6箇所	待避所設置工 5箇所	待避所設置工 6箇所	必要性 B	59%	H22年度に用地補償が完了し、H23は待避所設置工を進める。	未改良区間が長く地域住民が使用している主要地方道のため、事業効果が早期に発現出来る1.5車線による整備を継続したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
			9,500万円	2,000万円	1,500万円	3,940万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築	補助・単独別	単独
----	-----------	----------	-----------	--------	----

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
17	(主)岡谷茅野線 湖南～神宮寺 (諏訪市)	道路拡幅工 L=240m W=6.0(12.0)m	道路拡幅工 (暫定) L=200m	道路拡幅工 L=170m	道路拡幅工 L=170m	必要性 A	81%	計画どおり進んでいる。 バイパス区間が完了し、現道の拡幅を実施する。	諏訪市の道路整備プログラムにも最優先整備箇所にあげられており、一方通行を解消し、交通の安全性・円滑性確保のため、継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」
		[工期:H15～H24]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		4億8,000万円	8,150万円	7,800万円	1億260万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.1				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
18	(一)富士見原茅野線 農場 (茅野市)	道路拡幅(舗装)工 L=2,270m W=5.5(7.0)m	道路拡幅(舗装)工 L=150m 用地測量・用地補償 1式	道路拡幅(舗装)工 L=230m	道路拡幅(舗装)工 L=230m	必要性 C	88%	計画どおり進んでいる。 引き続き現道の拡幅(舗装)工を実施する。	県道認定済みの未供用区間の中で、当該箇所のみ未舗装となっており、基本的に現況未舗装路を舗装化することにより供用開始が図れることから、継続して事業を実施し平成23年度で完了を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		[工期:H17～H23]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		2億4,880万円	4,510万円	1,500万円	1,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=4.2				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
19	(主)茅野北杜荦崎線 乙事 (富士見町)	道路築造工 L=450m W=6.0(9.5)m	道路築造工 L=230m	道路築造工 L=30m	道路築造工 L=30m	必要性 A	97%	計画どおり進んでいる。 用地買収完了し、残り直線部の改良を実施する。	交差点改良と歩道整備を併せて行うことで、安全性の向上が見込まれるため、継続して事業を実施しH23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		[工期:H17～H23]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		1億4,980万円	6,080万円	300万円	300万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
20	(一)神ノ原青柳(停)線 穴山～大久保北 (茅野市～原村)	道路拡幅工 L=450m W=5.5(7.0)m	道路拡幅工 L=115m 水路工L=14.0m	道路拡幅工 L=135m	道路拡幅工 L=200m	必要性 B	44%	計画どおり進んでいる。 H22はBOXカルバートを設置し、H23は引き続き現道の拡幅工を実施する。	地元から非常に強い要望がある。周辺の状況から見て早期の効果発現が見込まれるため事業を実施したい。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		[工期:H17～H25]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		1億円	2,160万円	1,200万円	4,490万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=3.7				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
21	(一)八島高 原線 ひがしまた 東保  (下諏訪町)	待避所設置工 8箇所 区間延長L=480m W=4.0(5.0)m  (工期:H15~H24)	待避所設置工 1 箇所 L=80m	待避所設置工 1箇所 L=95m	待避所設置工 3箇所 L=246m	必要性 B	67%	計画どおり進んでいる。 5箇所の待避所設置が完了し、H23は引き 続き3箇所の待避所の設置を実施する。	1.5車線整備に対す る地元自治体及び地 域住民との合意形成 も図られており、生活 道路としての位置付 けを考慮し継続して 事業を実施したい。	待避所設置の必要 性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
		1億8,000万円	640万円	3,000万円	5,300万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
22	(一)諏訪箕 輪線 うしろやま 後山  (諏訪市)	道路拡幅工 L=1,330m W=5.5(7.0)m  (工期:H14~H23)	道路拡幅工 L=335m	道路拡幅工 L=185m	道路拡幅工 L=185m	必要性 C	88%	計画どおり進んでいる。 引き続き現道の拡幅改良工を実施する。	バス路線のほか地 域生活道路となっ ており、地域の要望が 強く、合意形成も得ら れているため継続し て事業を実施し、H23 年度で完了としたい。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
		2億6,150万円	3,880万円	3,200万円	3,200万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
23	(主)岡谷茅 野線 みなと 湊  (岡谷市)	歩道橋設置工 1基  (工期:H21~H23)	歩道橋設置工 1基	歩道橋設置工 1基	歩道橋設置工 1基	必要性 B	96%	警察との事前協議でやや遅れていたが、 測量・調査・設計が済み、本工事を実施す る。	当該箇所の歩道橋 設置は、通学学生の 安全確保と渋滞緩和 を図るために有効で あるので、事業を実 施し、H23完成を図り たい。	平成23年度での 完了を図る。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) 1				
		1億3,360万円	1億1,100万円	1,000万円	1,000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
24	(国)152号 杖突峠  (茅野市)	道路拡幅工 L=110m W=6.0(7.5)m  (工期:H22~H24)	測量・設計 1式	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=110m	必要性 B	15%	計画どおり進んでいる。 H22に測量設計が完了し、H23は用地買収 後、工事に着手する。	上伊那地方と諏訪 地方を結ぶ幹線道路 であり、緊急輸送路 でもあるが、大型車 がすれ違ふことが困 難となっている。交通 の安全性、円滑性の 確保を図るとともに、 観光地へのアクセス 機能の向上のため、 継続して事業を進め たい。	重要性、緊急性が 認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.0				
		8,000万円	1,200万円	6,000万円	6,800万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
25	(一)美篤箕輪 せん 線 なかつぼ 中坪  (伊那市)	道路築造工 L = 600m W = 6.0(10.0)m  〔工期：H18～H24〕	道路築造工 L = 190m	道路築造工 L = 110m	道路築造工 L = 110m H20設定用地県 債返し	必要性 A	70%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き施工区間の工事を実施する。	ボトルネックであり 通学する児童たちの 安全面でも支障をか きたしているため、継続 して事業を実施した い。	必要性が認めら れる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.7				
			3億5,600万円	8,000万円	7,000万円	1億700万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
26	(一)与地辰野 せん 線 はば 羽場  (辰野町)	道路拡幅工 L = 350m W = 9.5(15.5)m  〔工期：H20～H26〕	物件調査 1式 用地補償 1式	物件調査 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L = 350m	必要性 B	27%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、用地買収を実施する。	地域住民のニーズが 高く、国道、県道交差 点の安全確保及び交 通渋滞解消のため引 き続き事業を継続す る。	交通の円滑化及 び安全確保のため 拡幅整備の必要性 が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 H22変更 工区見直し、90m増 1億円増 工期延長2年 伊北インター周辺の交通問題について、辰野町道路懇談会で 継続的に議論され、南北路線の拡充より優先的に整備すべき 箇所として整理された。 B/C(費用対効果) = 5.4				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 5.4				
			3億円	7,100万円	2,000万円	2億2,000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
27	(主)伊那生田 いいたせん 飯田線  いぬま きたぐみ 飯沼～北組  (中川村)	道路拡幅工 L = 790m W = 4.0(5.0)m  〔工期：H19～H25〕	用地補償 一式	道路拡幅工 L = 49m	道路拡幅工 L = 413m	必要性 C	60%	用地交渉に時間を要したが、1工区が完了 し、緊急性の高い2工区を実施する。	地域住民のニーズ が高く、安全防災上 の効果も高いことか ら、早期に効果を実 現するためローカル ルールを適用し継続 して事業を実施した い。	1.5車線での整備 の必要性は認めら れる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.5				
			9,000万円	1,060万円	600万円	3,560万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
28	(一)北林飯島 じません 線 なかがい 坂  (中川村)	道路拡幅工 L = 219m W = 6.0(10.0)m  〔工期：H20～H26〕	道路拡幅工 L = 30m	道路拡幅工 L = 70m	道路拡幅工 L = 189m	必要性 B	26%	H22は用地買収をおおむね完了し、一部道 路拡幅工を実施した。 H23は引き続き道路拡幅工を進める。	小学校の通学路であ り必要性が認められ るため、継続して事 業を実施し安全性の 向上を図りたい。	通学路の安全を 確保するため、拡幅 整備の必要性は認 められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22変更 設計見直し、84m増 設計見直しにより、擦りつけ部延長増となった。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.3				
			1億4,000万円	1,890万円	4,500万円	1億350万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
29	<small>しいなせん</small> (一)西伊那線 <small>なやまぶんかんまえ</small> 中山分館前  (駒ヶ根市)	道路拡幅工 L = 200m W = 5.5(7.0)m  (工期: H21 ~ H24)	用地補償 一式	道路拡幅工 L = 120m	道路拡幅工 L = 200m	必要性 B	33%	H22より用地買収を実施し、H23は引き続き道路拡幅工を実施する。	本工区は大首倉地区の生活に密着した道路であり市街地への通勤通学路線であり迂回路もないため、継続して事業実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 国土交通省の残土利用との調整を必用とする。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 0.9				
		6,000万円	1,500万円	500万円	5,500万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
30	<small>しいなせん</small> (一)西伊那線  <small>にやま</small> 新山  (伊那市)	道路拡幅工 L = 710m W = 4.0(5.0)m  (工期: H17 ~ H26)	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L = 70m	道路拡幅工 L = 330m	必要性 B	59%	計画どおり進んでいる。 4工区中3工区が完了しており、H23は引き続き道路拡幅工を実施する。	ローカルルールを適用し早期に効果を発現することができるため、継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.3				
		1億7,000万円	1,000万円	1,300万円	7,000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
31	<small>ふきあげきたと</small> (一)吹上北殿 <small>のせん</small> 線  <small>ほいくじょした</small> 保育所下  (南箕輪村)	道路拡幅工 L = 120m W = 6.0(9.5) ~ 9.0(12.5)m  (工期: H22 ~ H26)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L = 130m	必要性 B	7%	計画どおり進んでいる。 H22は事業計画に対し地元合意をいただき、H23は引き続き用地補償を進める。	国道との交差点であり、ボトルネックとなっている箇所であるため引き続き事業を継続したい。	ボトルネック箇所の対策の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.8				
		2億円	2,200万円	3,000万円	1億7,800万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
32	<small>こまがね</small> (主)駒ヶ根 <small>ながやせん</small> 長谷線  <small>なかざわ</small> 中沢  (駒ヶ根市)	道路築造工 L = 730m W = 6.0(9.75)m  (工期: H22 ~ H28)	道路詳細設計 L = 730m	用地測量 一 式 用地補償 一 式	道路築造工 L = 730m	必要性 A	2%	計画どおり進んでいる。 H22は詳細設計を実施し、H23は用地測量、用地補償を進める。	生活道路の安全確保、また観光道路として地元活性化に寄与することから引き続き事業を継続したい。	必要性が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果) = 1.1				
		3億円	500万円	3,000万円	2億9,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築	補助・単独別	単独
----	-----------	----------	-----------	--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
33	(国)152号 みどう がいと 御堂垣外  (伊那市)	道路拡幅工 L=250m W=6.5(11.0)m  〔工期：H22～H23〕	用地測量 一 式 用地補償 一 式	道路拡幅工 L=250m	道路拡幅工 L=250m	必要性 A	67%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償まで完了し、H23は本工事に着手し、完了を目指す。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、H23年度に完了したい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 2.7				
			2,460万円	1,190万円	1,800万円	1,800万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
34	(一)南箕輪沢渡線 わたせん 渡線  こいで、しま 小出島  (伊那市)	待避所設置工 4箇所 L=400m W=5.5(7.0)m  〔工期：H22～H26〕	道路詳細設計一式	用地測量 一 式 用地補償 一 式	待避所設置工 4箇所 L=400m	必要性 B	2%	計画どおり進んでいる。 H22は詳細設計を実施し、H23は用地測量、用地補償を進める。	生活道路としての安全確保を図るため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	安全確保のため、待避所設置の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
			1億円	500万円	700万円	9,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
35	(一)車屋大久保線 せん 保線  ひがしはるちか 東春近  (伊那市)	道路拡幅工 L=340m W=6.0(9.75)m  〔工期：H22～H26〕	道路詳細設計一式	用地測量 一 式 用地補償 一 式	道路拡幅工 L=340m	必要性 B	3%	H22は詳細設計を実施し、今後地元定着を進める。 H23は用地測量、用地補償を進める。	地域の活性化に寄与する事業であるため、歩道幅員を確保し生活道路としての安全を確保し、継続していきたい。	歩行者の安全確保のため、歩道の追加整備の必要性が認められる。	「拡大」
						重要性 B	特記事項 H23変更 事業費1億円増、歩道追加設置、延長460m減、工期1年増 H22の地元との設計協議で通学路であるため歩道の設置について強く要望があり、施工区間を340mとして歩道幅員を増やし、歩行者の安全を確保する。 B/C(費用対効果) = 1.0				
						効率性 B					
			2億円	500万円	800万円	1億9,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
36	(一)吹上北殿線 のせん 線  おおいずみしんてん 大泉新田～ おおいずみ 大泉  (伊那市～ 南箕輪村)	道路拡幅工 L=400m W=5.5(7.0)m  〔工期：H20～H24〕	用地補償 一式	道路拡幅工 L=362m	道路拡幅工 L=400m	必要性 B	62%	H22は用地買収を完了し、H23年度より一部工事に着手する。	必要最小限のコストで効果が発現でき、市道整備に合わせ早期に整備を図りたい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						重要性 B	特記事項 伊那インター工業団地へのアクセス道路として、広域農道から市道交差点の間を整備する。				
						効率性 A	B/C(費用対効果) = 6.3				
			7,100万円	2,000万円	1,000万円	2,700万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
37	(一)伊那駒ヶ岳線 大坊 (伊那市)	道路拡幅工 L = 520m W = 4.0(5.0)m (工期: H17 ~ H25)	道路拡幅工 L = 20m	用地測量・用地補償 一式	道路拡幅工 L = 400m	必要性 B	55%	H22に設計が完了し、H23は引き続き用地測量・用地補償を実施する。	地元から強い要望がある。ローカルルールの適用により、少ないコストで早期に効果を発現することができると、継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期: H17 ~ H25〕				重要性 B	特記事項 H23変更 工期2年増、延長L=140m増、事業費4,500万円増 安全確保のため、詳細設計に伴う縦断擦付け延長の増。				
		1億1,000万円	350万円	1,800万円	5,570万円	効率性 A	B/C(費用対効果) = 1.9				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
38	(主)伊那生田飯田線 伊久間 (喬木村)	道路拡幅工 L = 220m W = 6.5(11.0)m (工期: H22 ~ H25)	測量設計 一式 用地調査 一式 用地補償 1軒	用地調査 一式	道路拡幅工 L = 220m	必要性 B	1%	計画どおり進んでいる。 H23年度用地県債をセットし用地買収を促進する。	竜東地区から飯田市街地への主要な道路であり、交通事故多発箇所である。整備効果が高いため継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
		〔工期: H22 ~ H25〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
		4億円	1,060万円	500万円	3億8,940万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.9				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
39	(一)新井伊那八幡(T)線 水城 (飯田市)	道路拡幅工 L = 200m W = 6.0(11.5)m (工期: H22 ~ H25)	測量設計 一式	用地調査 一式	道路拡幅工 L = 200m	必要性 B	3%	計画どおり進んでいる。 H22年度に測量設計を実施し、H23年度は用地補償を進める。	事故多発交差点であり、また保育園や小学校の通学路にもなっているため、交差点改良に着手して通行の安全を確保するため継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
		〔工期: H22 ~ H25〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
		2億円	500万円	1,000万円	1億9,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=4.4				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
40	(主)松川大鹿線 溝沢 (松川町)	道路拡幅工 L = 340m W = 5.5(7.0)m (工期: H22 ~ H26)	測量設計 一式 用地補償 一式	道路拡幅工 L = 250m	道路拡幅工 L = 390m	必要性 B	17%	計画どおり進んでいる。 H22年度は用地補償を進め、H23年度より本工事を実施する。	大型ダンプカーの通行も多く、大鹿村への重要なアクセス道路として生活道路の安全性を高めるため、継続して事業を実施したい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期: H22 ~ H26〕				重要性 B	特記事項 特になし				
		1億5,000万円	2,430万円	5,200万円	1億2,570万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.8				
						緊急性 B	住民参加状況等 地域の大切な道路の草刈りなどを住民が行うことを検討中である。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
41	いちばさくらまち せん 緑  きたじょう 北条  (飯田市)	道路拡幅工 L=220m W=5.5(7.0)m	道路拡幅工 L=156m	道路拡幅工 L=64m	道路拡幅工 L=64m	必要性 B	92%	計画どおり進んでいる。 引き続き本工事を進め、H23年度での完了を図る。	生活道路の効率的な改善による児童生徒等の安全確保を図り、河川改修事業と連携して整備を実施する必要があるため継続して事業を実施し平成23年度での完了を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		[工期:H15~H23]				重要性 A	特記事項 H22変更 133m増、3,723万円増、工期延長1年 交差する国補総合流域防災工事において橋梁掛け替えをH23に実施する見込みで、同時施工が求められており、これに併せ整備延長を拡大したため、事業費増、工期延長となった。 B/C(費用対効果)=1.5				
		2億4,430万円	1,830万円	2,500万円	2,500万円	効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 路傍の草刈りなど維持管理に住民が参加している。				
42	よねかわいいた せん 緑  おばやし かみ ほり 尾林上~堀 まわし 廻  (飯田市)	道路拡幅工 L=680m W=6.0(8.0)m	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=150m	道路拡幅工 L=350m	必要性 C	53%	計画どおり進んでいる。 H22年度に安戸工区の工事に着手し、H23年度は引き続き道路拡幅工を進める。	道路整備懇談会の実施など地元で事業を熱望しており、緊急性や必要性、重要性の評価も高いため事業継続としたい。	局部的改良の必要性は認められる。	「継続」
		[工期:H18~H26]				重要性 A	特記事項 三遠南信自動車道にアクセスする道路である。				
		3億5,000万円	2,800万円	3,000万円	2億3,300万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.4				
						緊急性 A	住民参加状況等 道路愛護会を設立し、道路の草刈り等を行っている。				
43	かみかたざり (一)上片桐 ていせん (停)線  はらだ 原田  (松川町)	道路拡幅工 L=140m W=5.5(8.75)m	測量設計 一式 用地調査 一式	道路拡幅工 L=140m	道路拡幅工 L=140m	必要性 A	14%	計画どおり進んでいる。 H22年度に測量設計を実施し、H23年度は用地補償及び道路拡幅工を進める。	町道改良に併せた道路ネットワークを形成するため、交差点部施工拡大による安全確保を含め、継続して事業を実施したい。	安全確保のため、追加整備の必要性が認められる。	「拡大」
		[工期:H22~H24]				重要性 A	特記事項 H23変更 延長75m増、事業費3,000万円増、工期1年増 町道交差点部について公安委員会との調整により、安全を確保するため、広域農道交差点区間を追加し、一体的整備を行う。				
		7,000万円	870万円	1,000万円	6,130万円	効率性 B	B/C(費用対効果)=1.3				
						緊急性 B	住民参加状況等 路傍の草刈りなど維持管理に住民が参加している。				
44	あやだなかむら せん 緑  たていし 立石  (飯田市)	道路拡幅工 L=130m W=4.0(5.0)m 待避所設置工3箇所	道路拡幅工 L=60m	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=70m	必要性 C	79%	計画どおり進んでいる。 H22年度に引き続き本工事を実施し、H23年度完了とする。	幅員が狭く線形も悪い ため継続して事業を実施し、平成23年度での完了を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		[工期:H19~H23]				重要性 A	特記事項 H22変更、法面対策工の追加、事業費4千万円増、工期2年増 農政の地すべり防止区域内の工法について見直しを行った。				
		1億1,680万円	5,200万円	1,500万円	1,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 B	住民参加状況等 用地を寄付で提供してもらっており、スムーズな事業進捗がはかられている。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
45	あかいしだばう (一)赤石岳公 えんせん 園線  わぞ 上蔵  (大鹿村)	道路拡幅工 L=177m W=4.0(5.0)m  (工期:H22~H24)	道路拡幅工 L=42m	道路拡幅工 L=82m	道路拡幅工 L=135m	必要性 B	30%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き本工事を実施する。	幅員が狭く線形も悪いため継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.20				
			9,000万円	2,270万円	3,500万円	6,600万円	緊急性 B	住民参加状況等 路傍の草刈りなど維持管理に住民が参加している。			
46	(国)152号  おしでばしこ 押出橋~小 どろぎ 道木  (飯田市)	待避所設置工4箇所 区間延長L=250m W=5.5(7.0)m  (工期:H20~H24)	待避所設置工2 箇所 L=30m	待避所設置工1 箇所 L=30m	待避所設置工2箇 所 L=140m	必要性 B	70%	計画どおり進んでいる。 順次待避所設置工を実施する。	地域も工事に協力し、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する工事であるため、継続して事業進捗を図りたい。	待避所設置の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
			7,000万円	1,300万円	1,000万円	3,600万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
47	(一)天龍峡 うていしもだいらせん (停)下平線  きらら 雲母  (飯田市)	待避所設置工3箇所 区間延長L=700m W=4.0(5.0)m  (工期:H21~H25)	測量設計 一式	保安林解除 一式	待避所設置工3箇 所 L=700m	必要性 C	31%	用地買収が保安林解除でやや遅れている。 H23は保安林解除を完了する。	1.5車線の整備により効率性が高く、地元要望も強いいため、継続して事業進捗を図りたい。	待避所設置の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
			4000万円	380万円	500万円	2,860万円	緊急性 B	住民参加状況等 道路法面の草刈り等は地域住民が実施している。			
48	(一)米川駄 しなでいせん 科(停)線  ちくかいどう 知久街道踏 みきり 切  (飯田市)	道路拡幅工 L=120m W=5.5(7.0)m  (工期:H20~H25)	測量設計 一式	用地調査 一 式	道路拡幅工 L=120m	必要性 B	38%	JR踏切を含めた道路拡幅について、用地交渉を進める。	近くに病院や介護施設もあり交通量も多いため、地権者の理解を求めて早期着手を目指したい。	重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 地域からの要望であるJR踏切の拡幅について継続してJR東海と協議を実施する。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.7				
			5,000万円	2,630万円	500万円	4,540万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
49	おしまあ 島線 おしま かがず 大島～加々 須  〔橋木村〕	待避所設置工6箇所 区間延長L=500m W=4.0(5.0)m  〔工期：H18～H23〕	待避所設置工1 箇所 L=98m	待避所設置工1 箇所 L=54m	待避所設置工1箇 所 L=54m	必要性 B	88%	計画どおり進んでいる。 引き続き本工事を実施し、H23年度完了と したい。	生活に密着した路 線であるとともに、大 島地区への唯一の道 路であることから、 ローカルルールに基 づき継続して事業を 実施し、平成23年度 での完成を図りたい。	平成23年度での 完了を図る。	「継続」
					重要性 B	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。					
			1億6,864万円	3,500万円	2,000万円	2,000万円	緊急性 B	住民参加状況等 道路の草刈りなどを地域住民が行っている。			
50	ながさわ 村線 あまぎわ きはら 長沢～佐原  〔豊丘村〕	待避所設置工3箇所 区間延長L=200m W=5.5(7.0)m  〔工期：H22～H24〕	待避所設置工1 箇所 L=40m	待避所設置工1 箇所 L=64m	待避所設置工2箇 所 L=160m	必要性 B	24%	平成22年度に測量設計を実施し、地元調 整の結果、待避所を3箇所整備として進め る。	生活に密着した路 線であるとともに、佐 原地区への唯一の道 路であることから、用 地難箇所を除き待 避所設置箇所を3箇 所としローカルルー ルに基づき継続して 事業を継続したい。	重要性が認められ る。	「縮小」
					重要性 A	特記事項 H23変更 待避所1箇所減(延長L=180m) 地元調整の結果、地権者の同意を得られないため施工延長 を減じる。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。					
			6,000万円	1,070万円	2,500万円	4,930万円	緊急性 B	住民参加状況等 道路の草刈りなどを地域住民が行っている。			
51	(主)あなんねばせん 線 ちやうすやま 茶臼山  〔根羽村〕	道路拡幅工 L=140m W=5.5(7.0)m  〔工期：H22～H25〕	測量設計・用地 補償 一式	道路拡幅工 L=145m	道路拡幅工 L=175m	必要性 B	18%	H22に詳細設計・用地補償が完了し、H2 3は本工事を実施する。	愛知県の観光地へ訪 れた観光客を長野県 側へ誘導するために も必要な整備である ため、危険箇所を追 加して引き続き事業 を進めたい。	危険箇所に対する 追加対策の必要性 が認められる。	「拡大」
					重要性 A	特記事項 H23変更 事業費6千万円増、延長147m増 詳細設計を実施し地元調整した結果、危険箇所を整備する ため事業区間を延長する。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.9					
			1億4,000万円	500万円	4,800万円	1億3,500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし			
52	あわの かどしま (一)栗野門島 ていせん (停)線  とみくさ 富草  〔阿南町〕	道路拡幅工 L=400m W=4.0(5.0)m  〔工期：H18～H24〕	休止	休止	道路拡幅工 L=76m	必要性 C	75%	76m区間が未完了であるが、一部反対意 見があるため、事業を一時休止する。	幅員が狭い上に見通 しが悪く、危険性が 高い箇所である。また、 工業団地へのアクセ ス道としての必要性 もあり継続して事業を 進めたい。H23年度 は用地交渉が難航し ており、休止とした い。	予定工期内での 完了を図る。	「休止」
					重要性 B	特記事項 H23変更 工期1年増 用地交渉が難航しており、継続して交渉を進めH23は休止す る。					
					効率性 B	B/C(費用対効果)=0.7					
			1億1,760万円	-	-	3,000万円	緊急性 B	住民参加状況等 路傍の草刈を地域住民が実施している。			

(様式2B)

分野 補完的な道路の整備 事業番号、事業名 86 県単道路改築

補助・単独別 単独

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
53	(主)中津川 南木曽線 馬籠峠～下 り谷 [南木曽町]	道路拡幅工 L=750m W=6.0(8.0)m [工期:H20～H24]	道路拡幅工 L=98m	測量設計 1式	道路拡幅工 L=750m	必要性 B	8%	計画どおり進んでいる。 H22年度は用地買収完了箇所の工事を実施し、H23年度は用地測量を実施する。	地域の観光の大動脈であり、また重要な生活道路でもある。局部的に改良することで、効果が得られるため、継続して事業を実施したい。	重要性が高い。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.5				
						緊急性 B	住民参加状況等 当箇所は、旧中山道の一部併用しており、観光客も多く通行することから、地域住民と一緒に維持管理の体制を整えていく。				
54	(一)上松御 岳線 最中 [上松町]	道路拡幅工 L=230m W=5.5(7.0)m [工期:H17～H24]	道路拡幅工 L=80.0m	道路拡幅工 L=160.0m	道路拡幅工 L=160.0m	必要性 B	79%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き本工事を進める。	重要な生活道路であり、幅員狭小で事故も多発していることから、事業を継続して実施し早期に事業効果を発現したい。	拡幅改良の必要性が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
55	(一)上松御 岳線 高倉橋～焼 けざさ 笹 [上松町]	待避所設置工7箇所 L=410m W=5.0(6.0)m [工期:H21～H25]	測量設計 1式	用地測量 一 式 用地補償 一 式	待避所設置工7箇所 L=410m	必要性 B	33%	H22年度に測量設計を完了した。H23年度は用地測量・用地補償を進める。	当箇所は、前後に比べ極端に幅員が狭いため交通に支障をきたしている。森林セラピー基地の赤沢自然休養林へ通じる道路でもあり、特に大型バスが多いため、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
56	(一)上松御 岳線 あがわ 小川 [上松町]	道路改築工 L=610m W=6.0(10.0)m [工期:H16～H24]	休止	用地測量 一 式 用地補償 一 式	道路改築工 L=610m	必要性 B	51%	一部、地権者との交渉が難航している。引き続き用地交渉を継続する。	観光地赤沢自然休養林への唯一の道路であるが、幅員が狭く自動車でのすれ違いが困難である。支障を解消し、安全な交通を確保するため継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22 用地交渉不調により休止。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.0				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
57	(主)開田三 岳福島線 床並橋 [木曽町]	橋梁架替工 L=83m W=6.0(8.0)m	A1橋台 1基	A2橋台 1基	上部工 L=19m 道路築造工 L=83m	必要性 B	43%	計画どおり進んでいる。 H22でA1橋台が完了し、H23はA2橋台を施工する。	地域住民との合意形成が図られている。 二次緊急輸送路であることから大型車通行支障箇所の解消に向けて引き続き事業を進めたい。	緊急性が認められる。	「継続」
		[工期:H22～H24]				重要性 B	特記事項 特になし				
		2億2,000万円	8,800万円	7,500万円	1億3,770万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.7				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
58	(一)原洗馬 (停)線 郷原南 [塩尻市]	道路拡幅工 L=510m W=6.0(10.0)m	用地補償 一式	道路拡幅工 L=120m	道路拡幅工 L=450m	必要性 A	61%	計画どおり進んでいる。 H23は北工区の道路拡幅工事を実施し、H22は南工区の用地買収を実施する。	地元からの強い要望があり、郷原交差点の改良と一体の施工により渋滞解消効果が発現できるため、継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」
		[工期:H17～H24]				重要性 B	特記事項 特になし。				
		2億7,000万円	6,250万円	6,800万円	1億850万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.8				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
59	(主)塩尻鍋 割穂高線 今井 [松本市]	道路拡幅工 L=426m W=5.5(7.0)m	道路拡幅工 L=72m	道路拡幅工 L=170m	道路拡幅工 L=170m	必要性 B	83%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償が完了し、H23は道路拡幅工を実施し完了を図る。	地元の要望が強いこと、また、待避所を組み合わせた整備を計画しており、地域の了解も得られていることから継続して事業を実施し、平成23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		[工期:H19～H23]				重要性 C	特記事項 特になし。				
		9,600万円	2,300万円	2,500万円	2,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=11.8				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
60	(主)乗鞍岳 線 鈴蘭 [松本市]	道路拡幅工 L=1,000m W=5.5(7.0)m	道路拡幅工 L=230m	道路拡幅工 L=120m	道路拡幅工 L=260m	必要性 B	83%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き拡幅工を実施する。	地元から強い要望があり、ボトルネック区間を整備することで効果が上がる。地域の了解も得ていることから、継続して整備を進めたい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」
		[工期:H17～H25]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		4億5,000万円	1億1,670万円	4,000万円	5,350万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野 補完的な道路の整備 事業番号、事業名 86 県単道路改築

補助・単独別 単独

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
61	(一)会田西 奈(停)線 小岩井 〔松本市〕	道路拡幅工 L = 170m W = 5.5(7.0)m 〔工期：H18～H23〕	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 170m	道路拡幅工 L = 170m	必要性 B	48%	H22に用地補償を完了し、一部工事に着手した。引き続き道路拡幅工を進め平成23年度での完了を図る。	前後の道路が改良済みであり、ボトルネック箇所の解消で市民生活の安定に大きな効果が期待されるため、事業を継続し、平成23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.7				
			5,404万円	1,530万円	2,800万円	2,800万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
62	(一)橋川岡 谷線 北小野 〔塩尻市〕	道路築造工 L = 1,000m W = 5.5(9.5)m 〔工期：H19～H26〕	道路築造工 L = 500m	道路築造工 L = 200m	道路築造工 L = 760m	必要性 B	44%	計画どおり進んでいる。H23は引き続き用地買収を実施するとともに工事を進捗させる。	地元からの強い要望があり、スムーズな交通の流れを阻害する当箇所を解消するため、継続して事業を実施したい。	道路幅員が狭く、整備の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.4				
			3億円	4,850万円	5,500万円	1億7,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
63	(一)下生野 明科線 小立野 〔生坂村〕	道路拡幅工 L = 100m W = 5.5(7.0)m 〔工期：H19～H23〕	道路拡幅工 L = 30m	道路拡幅工 L = 100m	道路拡幅工 L = 100m	必要性 B	85%	計画どおり進んでいる。H23は順次道路拡幅工を実施し、完成を目指す。	地元からの要望が強く、車両のすれ違いが困難な箇所を解消するため、継続して事業を実施し平成23年度での完成を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
			1億1,260万円	4,790万円	1,500万円	1,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
64	(一)惣社岡 田線 大村 〔松本市〕	道路拡幅工 L = 380m W = 6.0(10.0)m 〔工期：H20～H24〕	道路拡幅工 L = 60m	道路拡幅工 L = 130m	道路拡幅工 L = 380m	必要性 B	37%	計画どおり進んでいる。H23は買収済み区間の道路拡幅工を引き続き進める。	松本市都市環状道路(外環状線)に位置付けられているが、幅員狭小、視距不良の区間が残されており、安全かつ円滑な交通を確保する必要がある。	幅員狭小区間の整備の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.6				
			2億2,000万円	5,670万円	3,000万円	1億4,630万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			



(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築	補助・単独別	単独
----	-----------	----------	-----------	--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
69	(一)小倉梓 橋(停)線 しもながお 下長尾  〔安曇野市〕	道路拡幅工 L=480m W=5.5(8.5)m  〔工期:H19～H24〕	用地補償 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=246.0m	必要性 A	46%	H23年度は引き続き用地補償を進める。 用地交渉等が難航し事業計画に遅れがある。	(主)塩尻鍋割穂高線と国道147号を横方向で繋ぐ重要な道路網(ネットワーク)として、事業の促進を図る必要があるため、継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.2				
			2億4,000万円	2,410万円	4,500万円	1億3,370万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
70	(主)豊科イン ター堀金線 おおぐさきわ 大口沢  〔安曇野市〕	道路築造工 L=330m W=6.0(10.0)m  〔工期:H20～H24〕	道路築造工 L=130.0m	用地測量 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=200.0m	必要性 A	20%	計画どおり進んでいる。 H22の追加補正により凸角除去の2工区が完成し、H23は1工区の用地補償を進める。	死亡事故が連続して発生しており、道路の安全性の向上を早期に図る必要がある。	緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=2.6				
			3億円	7,780万円	1,200万円	2億1,890万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
71	(主)塩尻鍋 割穂高線 つかはら 塚原  〔安曇野市〕	道路築造工 L=650m W=6.0(12.0)m  〔工期:H22～H29〕	測量設計 1式	用地測量 1式	道路築造工 L=650.0m	必要性 A	2%	計画どおり進んでいる。 H22で道路計画法線の地元合意が得られ、H23は用地測量に入る。	国営公園間のアクセス機能の向上とともに観光ルートとして、道路整備(交差点改良)の必要性が高いことから、早期に完成させる必要がある。	必要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=3.1				
			3億1,000万円	740万円	900万円	3億260万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
72	(国)403号 さんちゅう 山中  〔安曇野市〕	道路拡幅工 L=320m W=6.0(7.5)m  〔工期:H22～H25〕	測量設計 1式	用地測量 1式	道路拡幅工 L=320.0m	必要性 B	8%	H22は測量設計を進め、道路計画法線の地元合意が得られ、H23年度は用地測量にはいる。	狭隘箇所(橋)の拡幅により、高速道路へのアクセス機能も向上することから、道路改築事業"矢越防災"と調整を図りながら、拡幅改良事業を進める必要がある。交通量も多く、施工延長を増とし事業を実施したい。	狭隘箇所(橋)の追加整備の必要性は認められる。	「拡大」
						重要性 A	特記事項 H23変更 事業費3000万円増、延長120m増、工期1年延長 暫定的な計画を予定していたが、地権者を含む関係者の同意が得られたため、施工延長を増加。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.6				
			9,000万円	660万円	300万円	8,340万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
73	ありあけお おまきん 町線  みやしろ 宮城  〔安曇野市〕	道路拡幅工 L=740m W=6.0(10.25)m  〔工期：H20～H28〕	道路拡幅工(交 差点改良) L=162.0m	道路拡幅工(線 形改良工) L=110.0m	道路拡幅工 L=468.0m	必要性 B	30%	H22の追加補正により、交差点改良工区 が完成し、H23は引き続き線形改良工区を 進める。	国営アルプスあづ みの公園(大町・松川 地区)へのアクセス道 路であり、また、松 本地域と大北地域を 連絡する主要ルート (通称：「山麓線」とし て重要な路線である ことから、事業の促進 を図る必要がある。	線形改良の必要性 は認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=2.4				
			4億円	1億710万円	6,100万円	2億8,014万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
74	ほりば、み あさせん 麻線  おおぞう 大左右  〔白馬村〕	道路拡幅工 L=200m W=6.5(11.0)m  〔工期：H22～H27〕	測量設計 一式	用地補償 一 式	道路拡幅工 L=200m	必要性 A	23%	計画どおり進んでいる。 H22は測量設計が完了し、H23は用地補償 を進める。	事故が多発しており、 地元住民の要望も強 いため、特に事故の 多発しているカーブ の急な部分を早急に 改築する必要がある。 。	必要性、重要性、 緊急性が認められ る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 自然環境保全のため、環境調査を実施中。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=2.4				
			1億5,000万円	2,390万円	1,000万円	1億5,690万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
75	おおまちお み 績インター千 ま、せん 曲線  しょうがっこうした 小学校下  〔大町市〕	道路拡幅工 L=340m W=6.0(8.0)m  〔工期：H20～H24〕	休止	休止	道路拡幅工 L=230m	必要性 B	8%	これまでに110m間が完了。H22は地権者 との調整が難航し休止とした。H23は用地 交渉難航中のため休止。	第2次緊急輸送路 に指定されており、幅 員線形を改良し、ボト ルネックを解消すると 共に、地元要望も強 い箇所であるが、用 地交渉が難航してい るため休止としたい。	重要性が認められ る。	「休止」
						重要性 A	特記事項 用地交渉を継続中であるが、地権者の了解が得られず休 止。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.2				
			2億2,000万円	-	-	2億240万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
76	おおまちお み 績インター千 ま、せん 曲線  した トンネル下  〔大町市〕	道路築造工 L=300m W=6.0(8.0)m  〔工期：H21～H25〕	ボックスカル パート工 L=50.8m	道路築造工 L=220m	道路築造工 L=300m	必要性 B	47%	計画どおり進んでいる。 H22は横断構造物の施工が完了し、H23は 引き続き本工事を進める。	大町市と八坂地区 を結ぶ幹線道路であ り、地元調整も図られ ているため、継続して 事業を進めたい。	重要性が認められ る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.5				
			4億円	8,730万円	6,400万円	2億8,770万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
77	(一)宇留賀 池田線  あめみや 雨の宮  〔池田町〕	道路拡幅工 L = 270m W = 4.0(6.0)m	用地測量1式 物件調査1式 用地補償1式	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 270m	必要性 B	23%	計画どおり進んでいる。 H22に用地買収を行い、H23より道路拡幅工に着手する。	現道は幅員狭小で、路線バスの運行にも支障をきたしているため、1.5車線整備により、継続して事業を進めたい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期：H21～H25〕				重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
		1億6,000万円	3,660万円	1,500万円	1億2,630万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
78	(一)上生坂 信濃松川 （停）線  なかやまおんせん 中山温泉  〔池田町〕	道路拡幅工 L = 550m W = 5.5(7.0)m	道路拡幅工 L = 70m 保安林解除 一 式	道路拡幅工 L = 170m	道路拡幅工 L = 310m	必要性 B	16%	計画どおり進んでいる。 H22より一部本工事に着手し、H23は引き続き道路拡幅工を進める。	当該箇所は、幅員狭小かつ急カーブが続き危険箇所である。安全な交通を確保するため、継続して事業を進めたい。	局部改良の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期：H20～H25〕				重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3				
		2億5,000万円	2,090万円	2,000万円	2億1,170万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
79	(一)小島信濃 木崎停車場 せん 線  いなお 稲尾  〔大町市〕	道路拡幅工 L = 260m W = 5.5(7.0)m	用地測量1式 用地補償1式	ボックスカル バート工 L=10m	道路拡幅工 L = 260m	必要性 B	31%	H22は用地買収が難航したが、H23より一部本工事に着手する。	橋梁の劣化が著しく、早急に架け替えが必要な状態であるため、事業の促進を図りたい。	橋梁の架け替え及び幅改良の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期：H20～H25〕				重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
		2億円	2,620万円	3,000万円	1億5,670万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
80	(一)舟場矢 下線  やした こそげ 矢下～小菅  〔大町市〕	道路拡幅工 L = 440m W = 5.5(6.5)m	用地補償1式 物件補償1式	道路拡幅工 L = 80m	道路拡幅工 L = 130m	必要性 B	59%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償を実施し、H23は道路拡幅工を実施する。	地域の合意が得られており、地域での重要な生活路線であるため、継続して事業を進めたい。	局所的な改良の必要性は認められる。	「継続」
		〔工期：H15～H24〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.7				
		8,000万円	530万円	1,500万円	3,300万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
81	(一)美麻八 坂線 梨平 〔大町市〕	道路拡幅工 L = 100m W = 5.5(7.0)m 〔工期: H21 ~ H24〕	用地補償1式 物件補償1式 地質調査1式	用地補償1式 物件補償1式	道路拡幅工 L = 100m	必要性 B	36%	計画どおり進んでいる。 H22は用地買収に着手し、H23は引き続き 用地補償を実施する。	幅員狭小、急カーブ で交通の難所である ため、生活道路として の安全確保を図ると ともに、地域産業の 活性化に寄与する事 業であるため継続し て事業を進めたい。	局部改良の必要 性は認められる。	「継続」
					重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.0					
			1億円	3,060万円	4,500万円	6,590万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
82	(一)美麻八 坂線 二重 〔大町市〕	道路拡幅工 L = 580m W = 5.5(7.0)m 〔工期: H21 ~ H25〕	道路拡幅工 L = 72m	道路拡幅工 L = 25m	道路拡幅工 L = 420m	必要性 C	26%	計画どおり進んでいる。 H23は1工区が完了予定であり、2工区の用 地補償を進める。	生活道路としての 安全確保を図るととも に、観光地へのアク セス機能の向上によ る地域産業の活性化 に寄与する事業であ るため継続して事業 の進捗を図りたい。	重要性、緊急性は 認められる。	「継続」
					重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=4.8					
			1億円	1,270万円	600万円	7,430万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
83	(一)奉納中 土(停)線 石原 ~ 曾田 〔大町市〕	道路拡幅工 L = 300m w=4.0(6.0) ~ 5.5(7.0)m 〔工期: H17 ~ H23〕	道路拡幅工 L = 40m	道路拡幅工 L = 100m	道路拡幅工 L = 100m	必要性 B	87%	計画どおり進んでいる。 引き続き道路拡幅工を進め、H23年度での 完成とする。	住民が参加し道路 整備を推進しており、 事故発生箇所とも なっているので継続 して事業し、平成23 年度での完了を図 る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
					重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.8					
			1億740万円	1,260万円	1,400万円	1,400万円	緊急性 B	住民参加状況等 沿線住民で構成している愛護会が中心となり県とアダプト協 定を結び、道路維持に協力していただいている。			
84	(一)内川 姨捨 (停)線 内川 〔千曲市〕	交差点改良工 1箇所 L = 37m W=5.5(7.0)m 〔工期: H21 ~ H24〕	用地測量 1式 用地補償 1件	用地補償 3件	交差点改良工 1箇所 (L=37m)	必要性 A	14%	計画どおり進んでいる。 H22は測量設計が完了し、H23は用地補償 を進める。	当交差点の交通容 量不足に起因する交 通渋滞が発生してい るため、継続して事 業を実施し、早期に 完成したい。	必要性は認められ る。	「継続」
					重要性 C	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.8					
			5,300万円	370万円	2,000万円	4,900万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
85	(一)長野上田 線  三本木  (千曲市)	橋梁整備工 L = 13m W=6.0(10.0)m  (工期:H22 ~ H24)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 4件	橋梁整備工 L=13m	必要性 A	10%	計画どおり進んでいる。 H22年度で測量設計が完了し、H23は用地 測量及び用地補償を実施する。	当該区間は、事故 危険箇所であるうえ、 国道18号バイパス及 びカ石バイパス供用 開始に伴う交通量増 加による交通環境悪 化が懸念されるた め、継続して事業実 施し、早期に完成し たい。	必要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」
		3,000万円	300万円	1,000万円	2,700万円	重要性 B	特記事項 橋梁部の施工について砂防事業(日影沢)と調整し実施。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
86	(一)上田千曲 長野自転車 道線  めざわ 女沢  (千曲市)	橋梁付替工 L=26.5m W=4.0m  (工期:H21 ~ H23)	休止	橋梁付替工 L=26.5m	橋梁付替工 L=26.5m	必要性 A	15%	計画どおり進んでいる。 H22は河川改修の工程に合わせ休止し、橋 梁付替工を実施しH23で完了とする。	水害防止のためにも 当事業により河道 狭隘部の解消をはか る必要があり早期完 成が望まれているこ とから引き続き事業 を実施し、平成23年 度での完成を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		6,470万円	-	5,500万円	5,500万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
87	(一)姨捨(停) せん 線  おおいけ 大池  (千曲市)	道路改築工 L=170m W=6.0(8.0)m  (工期:H22 ~ H26)	測量設計 一式	詳細設計 1式 用地測量 1式	道路改築工 L=170m	必要性 C	11%	計画どおり進んでいる。 H22に地権者に概ね了解が得られ、H23は 用地測量に入る。	国道18号バイパス の供用開始に伴う既 存交差点の改良であ り、交通の円滑化を はかるため、継続し て事業を実施したい。	緊急性は認められ る。	「継続」
		9,000万円	1,000万円	1,400万円	8,000万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.7				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
88	(一)白石千曲 線  やしろ 屋代  (千曲市)	道路改築工 L=230m W=5.5(7.0)m  (工期:H22 ~ H26)	測量設計 1式	用地測量 1式 物件調査 1式	道路改築工L =230m	必要性 A	5%	H22年度に測量設計を実施し、H23年度は 用地測量に入る。	早期完成に向け て、完成区間も含め 当面の事業効果が見 込まれるため、当区 間の整備方針を市道 接続までとし計画幅 員を縮小し、継続して 事業を実施したい。	必要性は認められ る。	「縮小」
		1億1,000万円	320万円	600万円	1億530万円	重要性 C	特記事項 H23変更 事業費7000万円減、幅員6.5(16.0)mを縮小 地元調整により市道取付部への暫定供用とする整備方針に 変更し設計修正した。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.6				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築	補助・単独別	単独
----	-----------	----------	-----------	--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
89	こみね い なりやません 荷山線  おおたわら 大田原  〔千曲市〕	道路改築工 L=200m W=5.5(7.0)m	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=130m	必要性 B	66%	計画どおり進んでいる。 H22に引き続きH23は道路拡幅工を進める。	当区間は大田原地区への唯一の道路であり、緊急時には重要な役割を果たしていることから、継続して事業を実施したい。	緊急性は認められる。	「継続」
		〔工期：H21～H25〕				重要性 B	特記事項 特になし。				
		1億6,000万円	4,840万円	4,100万円	5,100万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.7				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
90	おおまえす ざかせん 坂線  ゆみね 湯峰  〔高山村〕	道路拡幅工 L=346m W=4.0(6.0)m	道路拡幅工 L=30m	道路拡幅工 L=38m	道路拡幅工 L=72m	必要性 B	42%	H22年度に引き続き道路拡幅工を実施する。	観光道路の利用者の安全確保を図るとともに、県境を越えた地域間の交流に寄与する事業であり、またローカルルール適用により、少ないコストで早期に効果を発現することができることから、継続して整備を図りたい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		〔工期：H21～H24〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
		1億円	700万円	5,000万円	5,800万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.4				
						緊急性 C	住民参加状況等 特になし。				
91	まるこ しんしゅう 新線  まきの しま 牧野島  〔長野市〕	道路拡幅工 L=300m W=4.0(6.0)m	測量設計 1式	用地測量 用地買収 1式	道路拡幅工 L=300m	必要性 C	6%	計画どおり進んでいる。 H22に測量設計が完了し、H23より用地測量及び用地買収を実施する。	当区間は広域道路として重要な生活道路であり、新町病院や長野自動車道へのアクセス道路であることから、安全かつ円滑な通行を図るため、継続して事業実施したい。	重要性は認められる。	「継続」
		〔工期：H22～H26〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
		8,000万円	420万円	1,000万円	7,580万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.4				
						緊急性 B	住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。				
92	しなの しんしゅう 州新線  じょうり はぎの 上里～萩之 みね 峰  〔長野市〕	道路拡幅工 L=1,210m W=4.0(6.0)m	用地補償 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=360m	必要性 B	92%	計画どおり進んでいる。 H22は苦水工区の工事を実施し、H23は中区工区の用地補償を進める。	地域の生活道路であり、代替路線も無いことからローカルルールを適用し、引き続き事業の進捗を図りたい。	幅員が狭く、局部的な改良の必要性が認められる。	「継続」
		〔工期：H15～H24〕				重要性 A	特記事項 特になし。				
		6億6,330万円	4,500万円	6,000万円	5,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.9				
						緊急性 A	住民参加状況等 完成した区間の維持管理について、協議を行っている。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
93	(主)信濃信州新線 黒姫～仁之倉 〔信濃町〕	道路拡幅工 L = 400m W = 6.0(8.5)m 〔工期：H17～H26〕  3億円	測量設計 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L = 400m	必要性	6%	計画区間について地元調整を続けており、H22は用地測量を実施し、H23は用地補償を進める。	当箇所は長野市戸隠から信濃町間の最大のネック箇所となっていることから事業化してきたが、地元調整の結果、計画延長を縮小して継続して事業を進めたい。	重要性、緊急性が認められる。	「縮小」	
						重要性						特記事項 H23変更 工期2年延長 道路拡幅工L=200m減 計画内容について地元調整を続けてきた結果、用地交渉が難航した戸隠側を外した計画に見直す。
						効率性						B/C(費用対効果)=3.7
						緊急性						住民参加状況等 特になし。
94	(主)長野荒瀬原線 牟礼 〔飯綱町〕	道路拡幅工 L = 240m W = 6.0(10.0)m 〔工期：H18～H24〕  1億1,660万円	法面工 L = 50m	法面工 L = 50m	道路拡幅工 L = 240m	必要性	40%	計画どおり進んでいる。 H22に用地買収が完了し、H23は引き続き法面工を実施する。	地域活力基盤創造交付金事業で整備中の四ツ屋バイパスからJR信越線牟礼駅へ続く道路であり、バイパスと一体的に整備し、効果の発現を図りたい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性						特記事項 特になし。
						効率性						B/C(費用対効果)=1.2
						緊急性						住民参加状況等 特になし。
95	(主)戸隠篠ノ井線 瀬原田～布施五明 〔長野市〕	道路拡幅工 L = 364m W = 6.0(12.0)m 〔工期：H14～H23〕  3億3,950万円	用地補償 1式 橋梁概略設計 1式	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 50m	必要性	74%	H22は用地測量・補償調査を完了したが、用地補償が遅れている。 H23は用地買収部分の道路拡幅工を実施	今後、交通量の増加が見込まれ、中山間地と市街地を結ぶボトルネック箇所ともなっているため、継続して事業を実施したい。 地域の意向等を考慮する中で、全体計画を見直し、H23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性						特記事項 用地交渉が難航しているため、計画内容について事業の見直しを行いH23で暫定完了とする。
						効率性						B/C(費用対効果)=1.1
						緊急性						住民参加状況等 特になし
96	(主)戸隠篠ノ井線 青池～上野旅 〔長野市〕	道路拡幅工 L = 300m W = 4.0(6.0)m 〔工期：H22～H24〕  7,000万円	測量設計 1式	用地測量 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 300m	必要性	7%	計画どおり進んでいる。 H22は測量設計が完了し、H23は用地測量及び用地買収を実施する。	当区間は広域道路として重要な生活道路であるが、特に冬期間の通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を図るためローカルルールを適用し、継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」	
						重要性						特記事項 特になし。
						効率性						B/C(費用対効果)=1.9
						緊急性						住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
97	<small>しいやまやうこう</small> (主)飯山妙高 <small>こうげんせん</small> 高原線 <small>すがかわ</small> 菅川 (信濃町)	道路拡幅工 L = 200m W = 4.0(6.0)m [工期: H17 ~ H24]	用地補償 1式	用地補償 1式 用地測量修正 設計 1式	道路拡幅工 L = 200m	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	39% 計画どおり進んでいる。 平成22は用地買収を実施し、平成23は用地補償を実施する。	幅員狭小で、事故の危険性も高いため、継続して事業を実施し、早期に事業効果を発現したい。	局所的な改良の必要性は認められる。	「継続」	
		8,000万円	100万円	1,000万円	6,000万円	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=3.9				
						住民参加状況等 特になし。					
98	<small>むらやまわ</small> (一)村山綿 <small>たうちていせん</small> 内(停)線 <small>あし まち</small> 芦ノ町 (長野市)	道路拡幅工 L = 250m W = 6.0(7.5)m [工期: H22 ~ H25]	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 150m	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	18% 一部の反対意見があり、事業の進捗に影響を及ぼす可能性がある。 H23は引き続き本工事を進めたい。	地域間の連結等を担う道路として、交通の円滑化実現のため、継続して事業実施したい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」	
		6,000万円	290万円	900万円	5,710万円	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=6.7				
						住民参加状況等 特になし。					
99	<small>ふるま、てい</small> (一)古間(停) <small>のじりせん</small> 野尻線 <small>みのさと</small> 美野里 (信濃町)	道路拡幅工 L = 300m W = 5.5(7.0)m [工期: H22 ~ H24]	測量設計 1式x	用地測量 1式 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 300m	必要性 C 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	23% 計画どおり進んでいる。 H22は測量設計を実施し、H23は用地測量、用地買収を実施する。	生活道路としての冬期間の安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、急カーブ部の拡幅改良を継続して実施する必要がある。	急カーブ部の拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」	
		3,000万円	440万円	1,000万円	2,560万円	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=2.8				
						住民参加状況等 特になし。					
100	<small>むれ、ながえ</small> (一)牟礼永江 <small>せん</small> 線 <small>あかしお</small> 赤塩 (飯綱町)	道路拡幅工 L = 1,160m W = 4.0(6.0)m [工期: H17 ~ H26]	道路拡幅工 L=50m	測量試験 1式	道路拡幅工 L=410m	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	60% H22に用地買収は概ね完了し、H23は橋梁詳細設計を実施する。	地元の受入体制が整っており、ローカルールの適用により、老朽化した橋梁1橋の補修を含め、継続して事業を実施し事業効果を発現したい。	橋梁掛替の追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
		4億8,000万円	1,500万円	1,500万円	1億9,800万円	特記事項 H23変更 橋梁1橋増 事業費1億3千万円増 工期3年増 計画区間の橋梁を調査したところ、老朽化により早急に掛替が必要。	B/C(費用対効果)=1.1				
						住民参加状況等 特になし。					

(様式2B)

分野 補完的な道路の整備 事業番号、事業名 86 県単道路改築

補助・単独別 単独

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
101	やすにねのの (-)安庭篠ノ 井線  やすにわ じゅうに 安庭~十二  (長野市 しんしゅうしんまち 信州新町)	道路拡幅工 L = 785m W = 4.0(6.0)m	用地測量 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 220m	必要性 C	80%	他工区の用地交渉に時間を要したが、H22は順調に上有旅工区の用地測量が完了し、H23は用地買収と本工事を実施する。	事業効果は限定的であるが、小規模集落にのっての生命線である。また、ローカルルールの適用により、少ないコストで早期に効果を発現することができることから、継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」	
		(工期: H18 ~ H25)		1億8,730万円	190万円	1,000万円	4,550万円					重要性 A
		効率性 A	B/C(費用対効果)=0.8									
		緊急性 B										住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。
102	こみね いなり (-)小峰稲荷 山線  おおけみ た 大花見~田 沢  (長野市 しんしゅうしんまち 信州新町)	道路拡幅工 L = 500m W = 4.0(6.0)m	道路拡幅工 L = 60m	用地測量 一 式	用地補償 一 式	道路拡幅工 L = 440m	必要性 B	19%	計画どおり進んでいる。 H22は道路拡幅工を実施し、H23は用地測量、用地買収を実施する。	重要な生活道路であり、特に冬期間の通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を図るため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
		(工期: H20 ~ H25)		1億円	8,370万円	1,000万円	8,290万円	重要性 B				
		効率性 A	B/C(費用対効果)=1.4									
		緊急性 A						住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。				
103	かわくちおおまち (-)川口大町 せん 線  そう 左右  (長野市)	道路拡幅工 L = 380m W = 4.0(6.0)m	用地測量 1式 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 60m	道路拡幅工 L = 380m	必要性 C	14%	計画どおり進んでいる。 H22に測量設計が完了し、H23は用地買収後、道路拡幅改良工を実施する。	当区間は重要な生活路線であるが線形が悪く幅員も狭く危険であり通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を確保するため、ローカルルールを適用し継続して事業実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」	
		(工期: H22 ~ H25)		7,000万円	1,000万円	1,000万円	6,000万円					重要性 B
		効率性 A	B/C(費用対効果)=2.2									
		緊急性 B										住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。
104	かわくちのく (-)川口田野 ちしののい、せん 口篠ノ井線  たかの はいばら 高野~灰原  (長野市)	道路拡幅工 L = 460m W = 4.0(6.0)m	測量設計 1式	道路拡幅工 L = 60m	道路拡幅工 L = 460m	必要性 C	4%	計画どおり進んでいる。 H22は用地測量が完了し、H23は用地買収と本工事を実施する。	地元から強い要望がある。当箇所は、幅員狭小で車両のすれ違いに支障をきたしており、特に冬期は、路面凍結によるスリップ事故も発生しているため、ローカルルールを適用し早期に整備を行いたい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」	
		(工期: H22 ~ H25)		1億4,000万円	500万円	2,000万円	1億3,500万円					重要性 A
		効率性 A	B/C(費用対効果)=2.1									
		緊急性 B										住民参加状況等 特になし。

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
105	おがわ ながの (一)小川長野 せん 線 ゆやま いちば 湯山～市場  〔長野市〕	道路拡幅工 L=999m W=4.0(6.0)m  〔工期：H14～H23〕	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=80m	道路拡幅工 L=80m	必要性 B	93%	計画どおり進んでいる。 H23は順次道路拡幅工を実施する。	地域の生活道路であり、幅員狭小で代替路線もないことから、早急に整備を進める必要があるため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施しH23に完成を図りたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22変更 8,500万円増 工期延長2年 倉並地籍において、トラックが民家につっこむ事故が発生し、道路の石積みが損壊するなど、緊急で対応が必要となったため、倉並工区を追加で実施した。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=0.9				
			2億2,700万円	2,000万円	1,500万円	1,500万円	緊急性 B	住民参加状況等 草刈りなど維持管理に住民が参加している。			
106	おがわ ながの (一)小川長野 せん 線 あじまめ 味大豆  小川村	道路拡幅工 L=290m W=4.0(6.0)m  〔工期：H21～H24〕	修正設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=150m	道路拡幅工 L=290m	必要性 B	12%	計画どおり進んでいる。 H22に用地補償を実施し、H23は引き続き用地補償を進め、道路拡幅工を実施する。	地域住民の重要な生活道路であるが、狭隘区間が多く安全な通行の支障となっているため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.1				
			8,000万円	660万円	1,500万円	7,040万円	緊急性 B	住民参加状況等 年2回の草刈りなど維持管理に住民が参加している。			
107	いりやまこい (一)入山小 ち せん 市線  いりやま 入山  〔長野市〕	道路拡幅工 L=510m W=4.0(6.0)m  〔工期：H21～H25〕	道路拡幅工 L=130m	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=190m	必要性 B	69%	計画どおり進んでいる。 幅員狭小箇所より工事を進め、H23は犬飼工区終了後、入山工区を進める。	地域住民の重要な生活道路であるが、狭隘区間が多く安全な通行の支障となっているため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.8				
			8,000万円	2,600万円	1,500万円	2,480万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元区の協力があり、用地買収もスムーズに完了でき、地元では草取りや側溝清掃も行っている。			
108	いりやまこい (一)入山小 ち せん 線 かみふかさわ 上深沢  長野市	道路拡幅工 L=600m W=4.0(6.0)m (うち橋梁20m)  〔工期：H21～H25〕	測量・設計 1式 地質調査 1式 用地測量 1式	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=500m	必要性 C	5%	計画どおり進んでいる。 H22に用地測量が完了し、H23は用地補償実施後、道路拡幅工を実施する。	地域住民の重要な生活道路であるが、狭隘区間が多く安全な通行の支障となっているため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	重要性は認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.4				
			2億5,000万円	900万円	1,500万円	2億3,800万円	緊急性 B	住民参加状況等 期成同盟会を中心に維持管理を住民参加で行っている。			

(様式2B)

分野 補完的な道路の整備 事業番号、事業名 86 県単道路改築

補助・単独別 単独

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
109	(-) 信州新中 糸線  山上条  (長野市 信州新町)	道路拡幅工 L = 220m W = 4.0(6.0)m	用地測量 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 50m	道路拡幅工 L = 300m	必要性 B	44%	計画どおり進んでいる。 H22年度は測量設計が完了し、H23は用地 買収を実施し、道路拡幅工に入る。	当区間は重要な生活 路線であるが線形が 悪く幅員も狭く危険で あり通行に支障を来 していることから、安 全かつ円滑な通行を 確保するため、ローカ ルルールを適用し継 続して事業を実施し たい。	重要性が認められ る。	「継続」
		[工期: H19 ~ H25]				重要性 A	特記事項 特になし。				
		5,000万円	1,000万円	1,000万円	2,800万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.7				
						緊急性 B	住民参加状況等 維持管理に対しても住民参加の協力体制を協議していく。				
110	(一) 三水中 野線  一ツ屋 ~ 関 取場  (飯綱町)	道路拡幅工 L = 400m W = 6.0(10.0)m	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式 埋蔵文化財調 査 1式	埋蔵文化財調査 1式 道路拡幅工 L = 400m	必要性 B	29%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償を進め、H23は引き続き用 地補償と埋蔵文化財調査を実施する。	ボトルネックであり、 生活道路としての安 全を確保する必要が あり、早期の整備が 必要である。	通学路に指定され ており、整備の必要 性は認められる。	「継続」
		[工期: H21 ~ H25]				重要性 B	特記事項 特になし。				
		8,000万円	4,700万円	1,500万円	7,230万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.1				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
111	(主) 長野真 田線 おしまだ 小島田  (長野市)	道路築造工 L=100m W=6.0(10.0)m	用地補償 1式	取付道路工 L=100m	取付道路工 L=100m	必要性 A	71%	計画どおり進んでいる。H22に本線は供用 開始し、H23は取り付け部の用地買収完了 後、取り付け部の本工事を実施する。	国補道路改築事業 (小島田バイパス整 備)の関連事業として 実施し、平成23年度 での完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		[工期: H22 ~ H23]				重要性 B	特記事項 特になし。				
		3,500万円	2,500万円	1,000万円	1,000万円	効率性 B	B/C(費用対効果)=5.9				
						緊急性 A	住民参加状況等 完成した区間の植樹について、地元で維持管理してもらえ るようお願いしている。				
112	(主) 長野信 濃線 駒沢橋  (長野市)	道路拡幅工 L = 110m W = 5.5(8.25)m 橋梁工 L = 13m	本工事 L=30m	道路拡幅工 L = 80m 橋梁工 L = 13m	道路拡幅工 L = 80m 橋梁工 L = 13m	必要性 A	64%	計画どおり進んでいる。 H22で用地補償が完了し、道路拡幅工に入 り、H23は引き続き道路拡幅工を進める。	駒沢橋は幅員狭小で あり交通の支障と なっている。また通学 路にもなっていること から、安全を高める ため継続して事業を 実施し、平成23年度 での完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		[工期: H20 ~ H23]					重要性 C	特記事項 特になし。			
		1億4,000万円	1億円	4,000万円	4,000万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
113	(一)長野豊 のせん 野線  なかりま 中島  (長野市)	道路拡幅工 (R18交差点) L=150m W=6.0(10.5)m  (工期:H18~H23)	測量・設計一 式	道路拡幅工 L=150m	道路拡幅工 L=150m	必要性 A	73%	H22で用地補償を完了し、H23で道路拡幅工を完了させる。	新幹線に関連する 事業であり新幹線の 進捗にあわせて進め てきた。地元との調 整により片側歩道に 計画を変更して事業 を実施し、H23年度で の完了を図りたい。	平成23年度での完 了を図る。	「縮小」
		(工期:H18~H23)				重要性 B	特記事項 新幹線関連事業。 H23変更 事業費6260万円減 歩道幅員3.5m減 片側歩道のみ計画を縮小して完了とする。				
		1億8,738万円	500万円	5,000万円	5,000万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=2.7				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
114	(一)小川長野 せん 線  みやま 御山里~梅 き 木  (長野市 中条村)	道路拡幅工 L=663m W=4.0(6.0)m  (工期:H14~H23)	用地補償一 式	道路拡幅工 L=145m	道路拡幅工 L=145m	必要性 B	93%	H22は用地補償を完了し、H23は道路拡幅工を実施する。	地域の生活道路で あり、幅員狭小で代 替路線もないことか ら、早急に整備を進 める必要があるた め、継続して事業を 実施したい。ローカル ルール適用により事 業を実施し、H23年 度での完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		(工期:H14~H23)				重要性 A	特記事項 特になし。				
		2億1,500万円	2,000万円	1,500万円	1,500万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=0.9				
						緊急性 B	住民参加状況等 草刈りなど維持管理に住民が参加している。				
115	(一)とちほらきたごう しなのせん 信濃線  おりはし 折橋  (長野市)	道路拡幅工 L=430m W=4.0(6.0)m  (工期:H15~H23)	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=210m	道路拡幅工 L=210m	必要性 B	69%	計画どおり進んでいる。 H22は道路拡幅工を実施し、H23は道路拡幅工の完了を図る。	地域の生活道路と なっているとともに、 国道406号を結ぶ重 要な路線である。車 のすれ違いの出来な い幅員3.6mの箇所を 早期に改良する必要 があるので、継続的 に整備を実施し、H2 3年度での完了を図 る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
		(工期:H15~H23)				重要性 A	特記事項 特になし。				
		1億2,000万円	1,660万円	3,000万円	3,000万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
116	(主)しなのしんしゅ うしせん 新線  いちせ 市瀬橋  (長野市)	道路築造工 L=260m W=6.0(8.0)m (うち橋梁L=24.5m)  (工期:H18~H24)	休止	休止	道路築造工 L=260m	必要性 B	10%	H22は引き続き用地交渉を続けてきたが進展していない。H23は用地交渉が難航しているため休止とする。	地域の生活路線で あり、急勾配、幅員狭 小でもあり、早急な整 備を進める必要があ るが、地権者1名と連 絡が取れず用地補償 の目処が立たないこ とから、事業休止とし たい。	予定工期内での完 了を図る。	「休止」
		(工期:H18~H24)				重要性 A	特記事項 地権者との連絡がとれず、事業を休止とする。				
		2億5,000万円	-	-	2億2,470万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
117	(一)三水 <sup>さみずなかのせ</sup> 中野 <sup>ん</sup> 線  上 <sup>かみいまい</sup> 今井 <sup>くじ</sup> ～栗 <sup>はやし</sup> 林  〔中野市〕	道路拡幅工 L = 420m W = 6.0(10.0)m  〔工期：H17～H26〕	用地補償 1式 物件調査 1式 盛土工 1式	道路拡幅工 ボックスカル パート工 1式	道路拡幅工 L = 420m	必要性 B	32%	計画どおり進んでいる。 H22で用地買収を完了し、本工事に着手して おり、H23は引き続き本工事を進める。	中野地区と豊田地区を結ぶ唯一の道路であり重要性は高く、昭和58年の台風10号、昭和16年の台風23号、平成18年の7月豪雨では出水による冠水被害で通行止めとなったことから、生活道路の安全確保を目指し、継続して事業を進めたい。	重要性が認められる。	「継続」
					重要性 A	特記事項 特になし					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.7					
			4億6,000万円	6,170万円	1億9,000万円	3億870万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
118	(主)飯山 <sup>いひやま</sup> 班 <sup>だらおあらい</sup> 尾新井 <sup>り</sup> 線  栗 <sup>のきさか</sup> の木 <sup>のきさか</sup> 坂  〔飯山市〕	道路拡幅工 L = 1,600m W = 6.0(8.0)m  〔工期：H15～H24〕	道路拡幅工 L = 220m	道路拡幅工 L = 260m	道路拡幅工 L = 260m	必要性 B	84%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き道路拡幅工を進める。	当箇所は地域住民との合意形成も図られており、観光地をかかえる重要な道路であるため、継続して事業を実施したい。	線形改良の必要性が認められる。	「継続」
					重要性 B	特記事項 H23変更 事業費1億円増 軟弱地盤対策のため工法変更。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=2.3					
			5億5,000万円	8,370万円	1,000万円	8,540万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
119	(主)上越 <sup>じょうえつ</sup> 飯 <sup>い</sup> 山 <sup>やま</sup> 線  大神 <sup>だいかぐら</sup> 楽 <sup>うわ</sup> ～上 <sup>むら</sup> 村  〔飯山市〕	道路拡幅工 L=2690m W=4.0(6.0)m  〔工期：H17～H23〕	道路拡幅工 L = 255.9m	道路拡幅工 L = 550m	道路拡幅工 L = 550m	必要性 C	83%	H23は引き続き道路拡幅工を実施する。	局所的な拡幅改良により少ないコストで早期に効果を発現することができることから、継続して事業実施し、H23完成させたい。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
					重要性 A	特記事項 特になし。					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=2.2					
			1億4,500万円	1,000万円	500万円	500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。			
120	(一)秋山 <sup>あきやま</sup> 郷 <sup>ご</sup> 森宮 <sup>もりみや</sup> 野原 <sup>の</sup> (停 <sup>てい</sup> 線 <sup>せん</sup> )  五宝 <sup>ごほうぎ</sup> 木 <sup>に</sup> ～極 <sup>ごく</sup>  〔栄村〕	道路拡幅工 L = 440m W = 4.0(6.0)m  〔工期：H18～H25〕	用地補償 1式 物件調査 1棟	道路拡幅工 L = 340m	道路拡幅工 L = 440m	必要性 B	51%	計画どおり進んでいる。 H22年度で用地補償が完了し、H23から道路拡幅工に着手する。	生活道路の安全確保及び観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する工事であるため、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
					重要性 A	特記事項 H22変更 計画区間見直し、極野～中野間に変更、延長10.56km減、事業費2.2億減。 H18豪雪により秋山地区が孤立したため、代替ルート <sup>の整備を検討してきたが、事業費が100億を超えること、クマタカなど希少種の環境保護対策が必要となり、工事着手は困難な状況となったことから、極野～中野間の整備にとどめ、事業を縮小する。</sup>					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.3					
			1億8,000万円	1,600万円	6,000万円	8,880万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			

(様式2B)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築
----	-----------	----------	-----------

補助・単独別	単独
--------	----

建設部 道路建設課

番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
121	<small>しいやまみよ</small> (主)飯山妙 <small>うこうこうげんせん</small> 高高原線 <small>おやかかわ</small> 親川 [中野市]	道路拡幅工 L=450m W=4.0(6.0)m [工期:H21~H24]	用地補償 1式	道路拡幅工 L=80m	道路拡幅工 L=450m	必要性 B	20%	計画どおり進んでいる。 H22年度に用地買収完了し、H23年度は道 路拡幅工に着手する。	本路線は沿道には、 多くの観光施設が立 地しているが、幅員狭 小、急勾配、カーブが 連続している。豊田飯 山インター開通後は観 光バス等の大型車の 交通需要が高く、特に 冬期交通に支障をか きたしている。現道拡幅 により安全な冬期交通 確保のため継続して 事業を実施したい。	緊急性が高い。	「継続」
		8,000万円	1,500万円	5,000万円	6,390万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.8				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
122	<small>よませ</small> (一)夜間瀬 <small>あかしわせん</small> 赤岩線 <small>あかきわ</small> 深沢 [中野市]	道路拡幅工 L=730m W=4.0(8.0)m [工期:H20~H24]	道路拡幅工 L=70m	カラー舗装 L=350m 火の見櫓移設 1式	カラー舗装 L=585m	必要性 B	60%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き舗装工を実施する。	用水路を蓋付きの 水路に改修すること で道路幅員を確保す るローカルルールに よる道路整備を行 い、少ないコストで早 期に効果を発現でき るため、継続して事 業を実施したい。	拡幅整備の必要 性は認められる。	「継続」
		6,000万円	1,720万円	1,300万円	2,390万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.1				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
123	<small>とよのみな</small> (主)豊野南 <small>みしがこうえんせん</small> 志賀公園線 <small>かさがたけ</small> 笠ヶ岳 [山ノ内町]	道路拡幅工 L=2,260m W=4.0(5.0)m [工期:H20~H24]	道路拡幅工 L=300m	道路拡幅工 L=280m	道路拡幅工 L=810m	必要性 B	55%	H23は引き続き幅員狭小部の拡幅改良を 進めていく。	信州高山温泉郷と 志賀高原を結ぶ観光 アクセス道路であり、 少ないコストで早期に 効果を発現できるた め、継続して事業を 実施したい。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		4,000万円	950万円	700万円	1,780万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=6.1				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
合計	123箇所	214億9,996万円	32億4,050万円	32億400万円	117億4,394万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			